



ファームウェアバージョン:	R2.02.B011	
ハードウェアバージョン:	DXS-1210-10TS	B1
	DXS-1210-10MP	B1
	DXS-1210-12TC	B1
	DXS-1210-12SC	B1
発行日:	2025/3/24	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	2
CLI (シリアルポート) を使用したアップグレード	2
Web GUI を使用したアップグレード	5
追加機能：	8
MIB の変更点：	8
コマンドラインインタフェースの変更点：	8
修正した問題点：	8
既知の問題：	9

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：R2.02.B011	2025/3/24	DXS-1210-10TS	B1
		DXS-1210-10MP	B1
		DXS-1210-12TC	B1
		DXS-1210-12SC	B1

アップグレード手順：

アップグレードは、CLI(シリアルポート)もしくは Web GUI から実施することができます。

CLI (シリアルポート) を使用したアップグレード

1. スイッチの RS-232 シリアルポート (コンソールポート) と PC を接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。(本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。)

- ボーレート：**115200**
- データビット：**8**
- パリティ：**none**
- ストップビット：**1**
- フロー制御：**none**



2. ターミナルコンソール上でキーボード上のいずれかのキーを押します。
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、アカウント情報を入力し「Enter」を押します。初期値のアカウントおよびパスワードは「admin」です。
4. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
show boot	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
copy tftp://LOCATION/SOURCE-URL	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。
configure terminal	グローバルコンフィグモードに入ります。
boot imageid	次回の起動時にイメージファイルとして使用されるファイルを指定します。
end	現在のコンフィグモードを終了し、EXEC モードに戻ります。
reboot	スイッチをリブートします。
show version	スイッチのバージョンを表示します。

以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例)

(1) スイッチのユーザ名とパスワードを入力してログインします。

ユーザ名とパスワードの初期値は「admin」です。

(2) スイッチにファームウェアをダウンロードします。

```
Switch# copy tftp://10.90.90.100/DXS1210_B1_FW2_02_B011.hex
```

```
TFTP Firmware Upgrade processing.....Do not power off!!
```

```
Firmware upgrade successfully!
```

※現在のブートイメージとは別のイメージに対し、アップグレードが実行されます。

(3) ファームウェア情報を確認します。

```
Switch# show firmware
```

Image ID	Version	Size(B)	Update Time
*1c	V2.01.B012	28265872	27/01/2021 07:12:34
2	V2.02.B011	29027648	01/01/2009 00:10:41

c : Current boot up firmware

* : Boot up firmware

(4) 更新されたイメージIDをブートイメージとして指定します。

```
Switch# boot imageid 2
```

(5) スイッチを再起動します。

```
Switch# reboot
```

```
Are you sure you want to proceed with the system reboot (y/n) y
```

注意：

スイッチのアップグレード中及び再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

(6) バージョンがアップグレードされていることを確認します。

Switch# **show version**

Device Information

Device Type : DXS-1210-12TC 10GbE Smart Managed Switch

System Name : Switch

System Location :

System Contact :

Boot PROM Version : 1.00.002

Firmware Version : V2.02.B011

Hardware Version : B1

...

Web GUI を使用したアップグレード

1. TFTP サーバ経由でアップグレードを行う場合は、PC 上で TFTP サーバを有効にします。(必ずご使用の PC に TFTP サーバのインストールを行っておいてください。)
2. お客様の PC とスイッチを R-45 ネットワークケーブルで接続します。
PC とスイッチの IP アドレスは同じサブネット内に設定してください。
(例：スイッチの IP アドレスが 10.90.90.90 の場合、PC は 10.90.90.100 など)
3. スwitchの IP アドレス (初期値：10.90.90.90) をブラウザのアドレスバーに入力し、Web GUI にアクセスします。
4. Web GUI にログインします。
「User Name」(管理者のユーザ名)と「Password」(パスワード)の初期値は「admin」です。
5. ファームウェアアップグレードは、**Tools > Firmware Upgrade & Backup** から実行します。
アップグレードの方法は「HTTP」「TFTP」から選択します。

HTTP 経由でアップグレードを行う場合

Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from HTTP を選択します。

- Source URL : 「Choose File」をクリックし、ファームウェアファイルを選択します

TFTP サーバ経由でアップグレードを行う場合

Tools > Firmware Upgrade & Backup > Firmware Upgrade from TFTP を選択します。

- TFTP Server IP: IPv4 もしくは IPv6 を選択し、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
- Source URL : TFTP サーバ上に保存したファームウェアファイル名を入力します

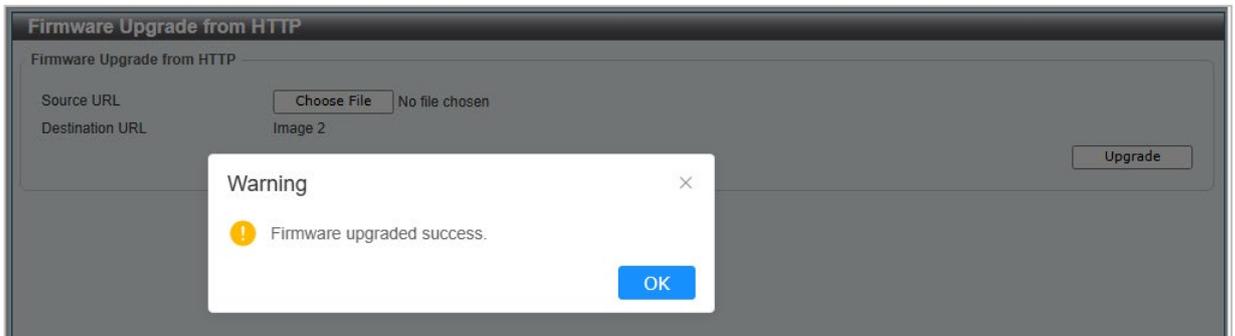
6. 必要な情報を指定した後、「Upgrade」をクリックします。
※現在のブートイメージとは別のイメージに対し、アップグレードが実行されます。

7. 「Firmware Upgrade Information」セクションにステータスが表示されます。

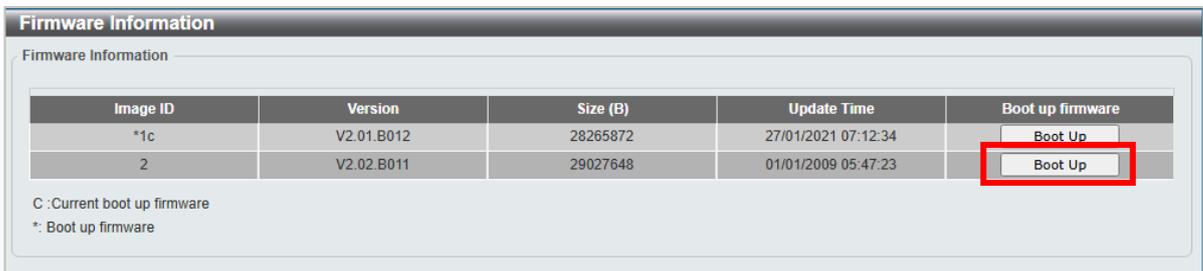


注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

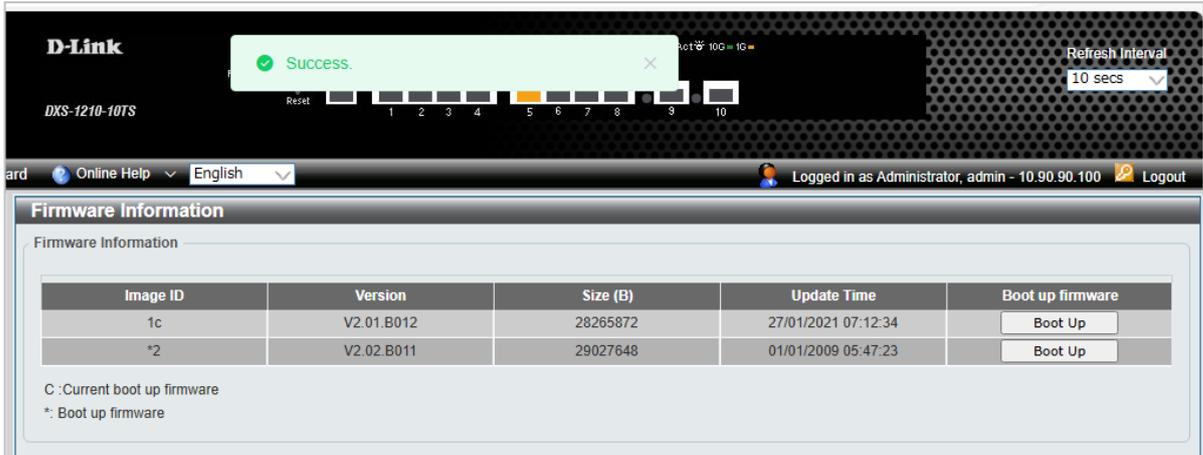
8. ファームウェアアップグレード完了後にメッセージが表示されます。「OK」をクリックしてメッセージ画面を閉じます。



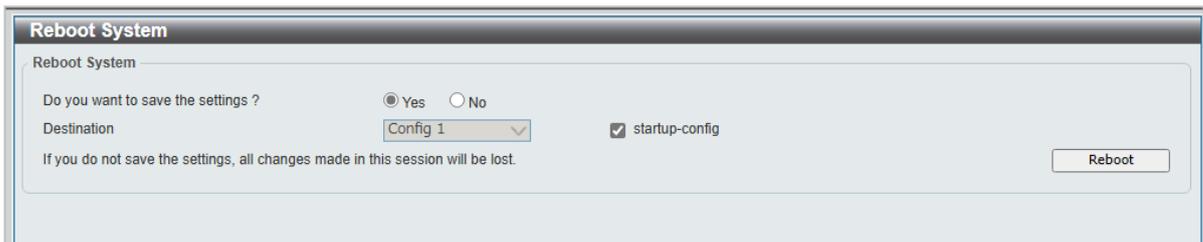
9. 次回のスイッチ再起動時にブートアップを行うイメージが選択するために、**Tools > Firmware Information** の順にクリックします。
10. 更新されたイメージ ID の「Boot Up」をクリックし、ブートアップファイルとして設定します。



11. ブートファイルの指定に成功すると、画面上部に「Success」メッセージが表示されます。



12. **Tools > Reboot System** をクリックし、「Reboot System」画面を表示します。
13. 以下の画面で「Yes」を選択し「Reboot」をクリックします。スイッチが再起動されます。



注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

14. システムの再起動後にログインし、デバイス情報画面でファームウェアのバージョンがアップグレードされていることを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	変更点
R2.02.B011	1. DXS-1210-10MP をサポート致しました。

MIB の変更点：

ファームウェアバージョン	MIB ファイル	変更点
R2.02.B011	DXS-1210-SERIES-V2.02.009.mib	1. DXS-1210-10MP をサポート致しました。 2. スマートファンのファン制御モード (「Normal」「Quiet」) に対応致しました。(DXS-1210-10MP のみ)

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R2.02.B011	1. スマートファンのファン制御モード (「Normal」「Quiet」) に対応致しました。(DXS-1210-10MP のみ)

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R2.02.B011	1. VLAN 2-4094 の一括削除を行うと、スイッチの処理が停止し 10 分後に復帰する場合があります問題を修正致しました。 2. MAC アドレス学習を無効化したポートで MAC アドレスが学習される場合があります問題を修正致しました。 3. WebGUI のセッションがセッションタイムアウトの設定値通りに切断されない問題を修正致しました。 4. SNMPv3 機能において、非サポートの AES プロトコルを指定して SNMP クライアントから問い合わせを行った場合、スイッチでクラッシュが発生する問題を修正致しました。 5. Interface Configuration モードにおける Error Recovery コマンドの脆弱性に関する問題を修正致しました。 6. VLAN 削除後、ポートセキュリティで設定したホストを正しく学習できない問題を修正致しました。 7. CRC エラーパケットのエラーカウンタ情報が表示されない問題を修正致しました。 8. スイッチ起動時にリンクアップのログが正しく出力されない問題を修正致しました。 9. show running config コマンド実行時、include/exclude オプションで記号 ("-"など) が含まれる文字列を指定した場合にフィルタが適切に動作しない問題を修正致しました。 10. Telnet/SSH セッション数の上限を修正致しました。(Telnet : 2⇒4、SSH : 3⇒4) 11. CLI でポートミラーリング設定を行い、保存、再起動を行うと、当該設定が削除さ

	<p>れる問題を修正致しました。</p> <p>12. System Name/System location/System Contact の有効文字が WebUI と CLI で異なっていた問題を修正致しました。</p> <p>13. DDM 数値の小数点位置が WebGUI と CLI で異なる問題を修正致しました。</p> <p>14. ポートのリンクダウン後、DDM のログが出力されなくなる問題を修正致しました。</p> <p>15. DHCPサーバスクリーニング設定における無効な IPv4 アドレスに対するエラーメッセージの文言を修正致しました。</p> <p>16. スタティックマルチキャストエントリを正常に作成できない場合がある問題を修正致しました。</p> <p>17. 手動で音声 VLAN を設定した場合、デバイスを識別できない問題を修正致しました。</p> <p>18. ポートの PVID を変更すると、スタティック MAC アドレス設定が削除される問題を修正致しました。</p> <p>19. ミラーリングの設定を保存しシステムを再起動後、設定した内容が running config に含まれない問題を修正致しました。</p> <p>20. システム起動時の CLI 上のログに不要なメッセージが含まれる問題を修正致しました。</p> <p>21. リンクアグリゲーション設定において、"no channel-group"コマンドで複数のチャンネルグループに跨るインタフェースを指定した場合、グループの一括削除ができない問題を修正致しました。</p> <p>22. CLI コマンドを使用して VLAN 名を設定する場合、「 」「;」「!」の記号を含めることができない問題を修正致しました。</p> <p>23. "show interfaces counters errors"コマンド実行時、コマンド文字列を省略した場合、エラーカウンタが表示されない問題を修正致しました。</p> <p>24. Port channel に登録されたスタティック MAC アドレスが、該当 Port channel の削除時に同時に削除されない問題を修正致しました。</p> <p>25. ケーブル診断機能について、WebUI と CLI の結果表示が異なる場合がある問題を修正致しました。</p> <p>26. Static ARP の設定エントリ数が一定数を超える場合、CLI 表示において、"terminal length"の設定が適切に機能しない問題を修正致しました。</p> <p>27. Static ARP の削除において、"no arp"コマンドで区切り文字として '!'を使用した場合、設定を削除できない問題を修正致しました。</p> <p>28. SSH サーバの IPv6 の機能について、Telnet サーバに適用される IPv6 ACL の影響を受ける問題を修正致しました。</p> <p>29. Port-channel において、不適切なエラーメッセージを伴い設定に失敗する問題を修正致しました。</p> <p>30. スマートファンのエラー/回復時のログメッセージが適切に出力されない問題を修正致しました。</p>
--	--

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R2.02.B011	<ol style="list-style-type: none"> SSH ホスト鍵の設定において、DSA および RSA キーを生成し、システムを再起動後、再度 DSA および RSA キーを生成し直した場合にシステムがクラッシュする場合がある問題。 コンフィグの流し込みとリセットを繰り返し実施した場合、Web が正常に表示されなくなる場合がある問題。 Copper ポートにおいて、リンクパートナーの状態に関わらず、「Flow control oper」が常に On ステータスを示す問題。

4. LLDP を使用する PoE 給電において、クラス 6 ネゴシエーションが動作しない問題。
5. VLAN 削除後、ポートセキュリティのアドレスエントリの番号が正しく表示されない場合がある問題。
6. ポートセキュリティの「Delete-on-Timeout」モードが動作しない問題。
7. ポートセキュリティの「Inactivity」モードが動作しない問題。
8. "no mac-address-table static"コマンドを使用した際に、MAC アドレス形式が不正（区切りなし）によりエントリを削除できない場合でも、エラーメッセージが表示されない問題。
9. IGMP スヌーピングおよび STP 有効時、トポロジが変更されても IGMP クエリが送信されない問題。
10. CLI 上で、FDB テーブル上の VLAN 情報が正しく表示されない場合がある問題。
11. HTTPS 接続による WebUI 経由でバックアップしたファームウェアイメージが不正となる問題。

Copyright 2025 D-Link Japan K.K.